

FISHING トピック No.25

ねざかなごさんけ 根魚御三家

雪が舞う空を眺めつつ、ただひたすらに春の訪れを待つ今日この頃…。外は極寒なので休日
はコタツで温まりながらのんびりと過ごしている方が多いのではないのでしょうか？ 魚たちも
同じで自分たちに適した水温に近い深場へとお引越して体を休めています。魚との出会い
を楽しみにしている方々にとっては非常に厳しい季節ですね(; ∇ ;)でも、冬だから出会える
魚たちもいます。例えば…「氷に穴をあけて釣るワカサギ」海では岩や消波ブロックの隙間
に潜む根魚たち(根魚とは…遠くに移動することなく生息範囲が狭い魚のこと) 根魚は水温が
下がる冬場に活発になる種類が多いようです。その中でも有名な3種類『根魚御三家』を求め
海に繰り出す人たちがたくさんいます。みなさんはこの3種類の魚たちを知っていますか？



メバル



アイナメ



カサゴ

もし少年自然の家の前に広がる喜多久干潟で最もよく出会える魚は『カサゴ』北九州では
アラカブと呼ばれることが多いです。バランス的に頭が大きく“笠(雨や日光など除ける
とんがり帽子)を被っているように見える”ことからカサゴと呼ばれるようになったとか！

次に見かけられるのは『アイナメ』子ども(10 cm程)の
アイナメは潮だまりで時々観察できますが…大人(30~
40 cm)になると出会うことがめっきりなくなります。なんと
大きくなると60 cmを超えることもあるとか！最後は「メバル」
喜多久干潟ではメバルの仲間のタケノコメバルに出会えます。
メバルは権七岩方面に行けば出会えるかもしれません！？
(今まで出会ったことはありませんが…) 少し昔までメバルは
1種類とされていましたが、DNA鑑定技術の発展もあって
実は3種類いることが分かりました。アカメバル・クロメバル
シロメバルで見分けるのは至難の業！胸ビレの軟条の数で
見分けられるとか！みなさん、寒さ対策をしっかりと行い
根魚御三家の捕獲に挑戦してみてくださいはいかがでしょうか？

